

令和7年度 第2回刈谷市国民健康保険運営協議会 会議録			
日 時	令和7年12月24日(水) 午後1時30分～午後2時00分	場 所	刈谷市役所 7階701会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者を代表する委員 根来辰男委員、中野カズヨ委員、近藤節子委員、加藤裕子委員 ・保険医又は保険薬剤師を代表する委員 宮田泰委員、野村圭吾委員 ・公益を代表する委員 鈴木正人委員、加藤幹樹委員、鈴木絹男委員、大山実委員 ・被用者保険等保険者を代表する委員 高津良平委員、土手新吾委員 ・当局出席者 稲垣市長、加藤福祉健康部長、杉浦福祉健康部政策監、 酒井国保年金課長、二宮課長補佐、浅野係長 河野主査 		
欠席者	<ul style="list-style-type: none"> ・保険医又は保険薬剤師を代表する委員 辻村享委員、富安斉委員 		
<p>討議内容</p> <p>議題 税率改正について</p> <p>事務局から資料に基づき説明を行い、次のとおり、委員の質問に対し事務局が説明した。また、議題について委員の了承を得た。</p> <p>質 問：保険税負担緩和目的の一般会計繰入金を0にする予定と記載があるが、赤字解消を0にする計画は令和9年度でよろしいか。</p> <p>説 明：愛知県に提出している計画では、赤字解消年度を令和8年度としており、今回の運営協議会であらためて説明させていただきますが、令和8年度事業計画では保険税負担緩和目的の繰入れを0にする予定でございます。</p> <p>意 見：物価高もあり、特に子育て世代の税率改正における負担が大きいと考えるが、子育てのない世代の税率を引き上げて、その分子育て世代の税率を下げて負担を減らすことは可能か。</p> <p>説 明：増加する税額で比較すると差があるように見えますが、増加率で比較するとどちらの世代もおおむね同じような上がり幅となっております。なお、40歳から64歳の増加率が少し高くなっているのは保険税に介護保険分が含まれており、その保険税の上昇率が影響したためです。</p> <p>なお、65歳以上の方については、保険税とは別に介護保険料という形で</p>			

年金等から直接徴収されており、介護保険料が値上がり等した場合、今回お示ししたものと別に影響を受ける形になります。また、国保税の計算の仕組み上、年齢区分で税率を変えることは困難であります。子育て世代については、令和8年度から保険税とともに徴収される子ども・子育て支援納付金を財源の一部とした児童手当の拡充など6つの施策によって支援を受けますので、ご理解いただきたいと思います。

意見：今後のスケジュールを見るとホームページやハガキなどで税率改正について周知されるようだが、保険税が上がった主な要因が子ども・子育て支援納付金であることを、子ども・子育て支援金制度の周知も含めて行ってもらいたいのと、例えば個々の納税通知書に子ども・子育て支援納付金がいくらなのかわかるようにしていただきたい。

回答：子ども・子育て支援金制度が始まることは国のホームページに記載されておりますが、まだまだご存じではない方も多いため、各健康保険者が周知していくことにはなりますが、刈谷市におきましても、まずホームページや市民だよりで周知していきます。また、7月中旬に発送する納税通知書の明細に、これまでも医療分・介護分・支援分それぞれの税額の表記をしておりますが、そこに加えて子ども・子育て支援納付金分の表記をする予定でございます。

質問：1億円の赤字を解消するための税率改正により、被保険者には負担増になるが、滞納者に対する徴収の強化などはしているか。

説明：6、7年度2年連続で税率が上がっておりますが、現年度分はおおむね96%の収納率は維持できていますので、今後も滞納状況を注視してまいります。また、徴収に関して専門的に行っている納税課と連携を取りながら適正な徴収を行っていきたいと思います。

意見：税負担の公平性の観点から、引き続き徴収にも注力していただきたい。

議題に引き続き、その他として「(1) 令和8年度運営協議会の開催日数について(2) 今後の予定」を事務局より説明。

質問：子ども・子育て支援納付金の税率は、第3回の協議会で公表されるのか。

説明：税率については、11月中旬に県から示された標準保険税率の中で子

ども・子育て支援納付金分も提示されておりましたので、今回の資料に記載のものはそちらを加味した率となっております。

終了。